



腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術・CAPD導入を受けられる(

)さま

主治医は、
病棟師長は、
担当看護師は、

月・日曜日	入院日(手術前日)	手術日		手術後1日目	2日目～退院まで
	／ ()	手術前	手術後	／ ()	／ ()
説明・指導	・入院オリエンテーション ・入院までの経過や病状をお伺いします ・病棟内案内 ・手術について説明があります	・化粧はしないで下さい ・めがね・時計・指輪・義歯・ヘアピン・コンタクトを外し、トイレを済ませます ・髪の毛の長い方は、あらかじめ両側にゴムで束ねておいて下さい 	・手術後、医師からご家族の方に手術の説明があります ・痛みがある時や眠れない時は遠慮せず看護師に申し出て下さい ・医師がお腹の管から液を入れて洗浄を開始します ・血栓予防の為、足の運動をしましょう	 	・看護師と一緒に腹膜透析の手技を練習をはじめます ・栄養士より食事指導があります ◎退院してからの生活について説明します ・退院後も腹膜透析ノートの記入は続けてください(体重・体温なども)記入していただいたノートの記録は外来で確認します ・緊急連絡先をお渡しします、腹膜透析中にすぐにみれるようにしてください ・緊急クランプ用のクリップを2つ持って帰ってもらいます お腹のチューブが破損した時や接続部位が汚染した際にチューブクランプを行ない、汚染部位、破損部位より腹部側に2箇所クリップを止めて至急病院へ連絡してください。 ・発熱や腹痛、管の周囲が赤い、排液が濁っている事があればPD外来へ連絡してください ※休日は救急外来へ連絡してください。 ・管のテープが剥がれたり、水でぬれたりしたら、その日の日中にPD外来に連絡して下さい。 ※平日夜間であれば翌日にPD外来へ、休日は救急外来へ連絡してください ※濡れたままにしておくくと菌が入って感染してしまう可能性があるのものでそのままだにしないようにしましょう。 ・退院後も入院などされる際は業者へ連絡するようにしましょう。(液の調達などの関係があります) ・採血などを行なう際はできるだけ手の甲でしてもらうようにしましょう。
	検査・処置・手術	・手術前日におなかの毛を剃り、おへそのうじをします。その後、入浴してください ・ネームバンドをします ・ひげ剃りをしておきましょう	・弾性ストッキングを着用します ・看護師の持参した手術衣に着替えます ・ご家族の方は手術中デイルームかお部屋でお待ちください	・手術中に尿管が入ります ・酸素マスクをつけます ・血圧や体温を測ります 	・採血があります ・毎日決まった時間に体重をはかりましょう ・尿の量を毎日ばかります
内服・点滴	・内服をされている方は薬の内容を確認します	・午後から手術の方は、午前中に点滴があります	・点滴が24時間続きます	・抗生剤の点滴があります 	
食事	・治療食となります	・飲みものや食事をとることはできませんが、うがいはできます 		・朝食より開始となります	
入浴	・シャワー浴をしましょう			・タオルで体を拭きます	・手術後4日目までは体を拭きます ・5日目以降からシャワー浴が可能となります(初回のシャワー浴の際は看護師より指導があります)
安静度	・制限はありません		・手術後は、ベッド上で安静です ・寝返りはできます	・歩く練習をしていきます	・病棟内を歩くようにしましょう 

* 病状に応じて、予定は変更になる場合があります。ご不明な点がありましたら、担当看護師におたずねください。

2022年7月作成 広島赤十字・原爆病院 腎臓内科